

[本文へ](#) [English](#) [Other Languages](#) [リンクページ](#) [よくある質問集](#) [サイトマップ](#)文字サイズを変更 [あ](#) [あ](#) [あ](#)

フリーワード検索

検索

[詳細検索](#) [検索方法](#)[外務省案内](#) | [渡航関連情報](#) | [各国・地域情勢](#) | [外交政策](#) | [ODA\(政府開発援助\)](#) | [会談・訪問](#) | [報道・広報](#) | [キッズ外務省](#) | [史料・公開情報](#) | [各種手続き・御意見](#)[トップページ](#) > [各国・地域情勢](#) > [アジア](#) > [ASEAN\(東南アジア諸国連合\)](#) > 第17回日・ASEAN首脳会議

ASEAN(東南アジア諸国連合)

第17回日・ASEAN首脳会議

平成26年11月12日

[英語版\(English\)](#)

(写真提供:内閣広報室)

ツイート 17

メール



(写真提供:内閣広報室)

11月12日、ミャンマー・ネーピードーにおいて、午後3時30分から約1時間(現地時間)にわたり、安倍総理出席の下、第17回日ASEAN首脳会議が開催されたところ、概要以下のとおり(議長:テイン・セイン・ミャンマー大統領)。また、同会議において「[テロ及び国境を越える犯罪との闘いにおける協力のための日ASEAN共同宣言\(PDF\)](#)」が採択された。

1. 日ASEAN関係のレビューと将来の方向性

冒頭、安倍総理より、昨年12月の日ASEAN特別首脳会議で採択された「日ASEAN友好協力に関するビジョン・ステートメント」及び「共同声明」を着実に実施に移し、更に協力を深めていきたい旨述べ、ビジョン・ステートメントの4つの柱に沿って議論が行われた。ASEAN側からは、総じて、日ASEAN関係が昨年の特別首脳会議を経て新たな高みへと引き上げられたことを高く評価するとともに、ODA、日ASEAN統合基金(JAIF)、連結性支援プロジェクト等を通じた我が国の協力・支援に深く感謝する旨の発言があった。

(1) 平和と安定のためのパートナー

(ア) 安倍総理より、安保法制整備についての閣議決定、日米防衛協力のための指針の見直し等、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の取組について説明した。ASEAN側の多くの国から、「積極的平和主義」と日本の地域における役割を歓迎する旨の発言があった。

(イ) 安倍総理より、日ASEAN間の共同訓練、人材育成、航行の安全等において引き続き協力し、海上保安・安全能力構築のため、今後3年間で700人規模の人材育成を行う旨表明した。

(ウ) 安倍総理より、11月19日に行われる予定である日ASEAN防衛担当大臣ラウンドテーブルの開催を歓迎し、防衛当局間の協力も更に深めていきたい旨述べた。ASEAN側の多くの国から、防衛担当大臣ラウンドテーブルの開催を歓迎する旨の発言があった。

(2) 繁栄のためのパートナー

(ア) 安倍総理より、昨年の特別首脳会議で表明した5年間で2兆円規模のODAのコミットメントは既に約6千億円を達成し、JAIF2.0や連結性支援プロジェクトを含め、ASEAN共同体構築を支援していく旨述べた。

(イ) 安倍総理より、膨大なインフラ需要に適切に対応し、「質の高い成長」を実現するためには、「人間中心の投資」の推進が不可欠であり、日本は、(1)効果的な資金動員のための協力手法の整備、(2)被援助国との対話と計画、多様なドナーとのパートナーシップの強化、(3)ライフサイクルコストや環境への配慮、(4)包括的かつきめ細かいアプローチといった手法を通じ、ASEANにおける「質」の高いインフラ整備支援を強化していく旨述べ、ASEAN側からはこれを支持する発言があった。

(ウ) 安倍総理より、日ASEAN航空協定の当局間協議の開始を歓迎し、また、日ASEAN包括的経済連携(AJCEP)について、より高いレベルの協定を実現すべく双方が迅速かつ前向きに対応することが重要である旨述べた。

(3) より良い暮らしのためのパートナー

(ア) 安倍総理より、日本はASEANにおけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の達成を重視しており「日ASEAN健康イニシアティブ」として、健康増進、病気の予防及び医療水準の向上に向け、5年間で8千人の人材育成を目指したい旨述べ、ASEAN側からこれを支持する発言があった。

(イ) 安倍総理より、昨年の特別首脳会議で表明した「日・ASEAN防災協力強化パッケージ」のうち既に約600億円の支援と約250人の人材育成を達成し、引き続きAHAセンター(ASEAN防災人道支援調整センター)等を通じた支援を行う旨述べるとともに、来年3月の仙台での第3回国連防災世界会議への参加を招請した。

(ウ) 安倍総理より、石炭火力発電の高効率化の重要性、「女性が輝く社会」の実現に向けて協力したい旨述べた。

(4) 心と心のパートナー

安倍総理より、「JENESYS2.0」、「文化のWA」や「Sport for Tomorrow」といったプロジェクトの下、心と心のパートナーシップが着実に拡大しており、JENESYS2.0については、これまで約6200人のASEANの青少年を招へいし、約350人の日本人学生を派遣するとともに、本年4月、サッカーのユースチームを招へいし活発に交流を行い、文化のWAについては、日本語パートナーズの派遣開始、東京国際映画祭と連携したASEAN地域の映画交流等、双方向の交流が着実に進展している旨述べた。

2. 地域・国際情勢

- (1) 南シナ海問題に関し、安倍総理より、シャングリラ・ダイアログで訴えた「海における法の支配の三原則」にのっとった行動を期待しており、本件が地域共通の課題であることを明確にすることが重要である旨述べた。
- (2) 北朝鮮に関し、安倍総理より、北朝鮮の核・ミサイル開発の継続は、アジア地域の平和と安定に対する重大な脅威であり、また拉致問題は、主権及び国民の生命・安全に関わる重大な問題であるとともに、基本的人権の侵害という国際社会全体の問題である旨述べた。
- (3) 安倍総理より、エボラ出血熱の流行やISIL等の国際的に喫緊の課題に関して、日ASEANで緊密に協力をしていきたい旨述べた。

[議長声明\(英文\)\(PDF\)](#)  (290KB)

[議長声明\(骨子\)\(PDF\)](#)  (59KB)

[安倍総理大臣のAPEC首脳会議、ASEAN関連首脳会議及びG20首脳会合出席\(平成26年11月9日～17日\)](#)
[日・ASEAN協力](#)



Adobe Systemsのウェブサイトより、Acrobatで作成されたPDFファイルを読むためのAdobe Readerを無料でダウンロードすることができます。左記ボタンをクリックして、Adobe Systemsのウェブサイトからご使用のコンピュータに対応したソフトウェアを入手してください。

[このページのトップへ戻る](#)

[ASEAN\(東南アジア諸国連合\)へ戻る](#)

[法的事項](#) | [アクセシビリティについて](#) | [プライバシーポリシー](#)

Copyright© 2014 Ministry of Foreign Affairs of Japan

日ASEAN首脳会議議長声明（骨子）
平成26年11月12日

- 日ASEANバリ行動計画（2011～15年）、特別首脳会議で採択された友好と協力のビジョンステートメント及び共同声明に基づいた協力の進捗を歓迎。
- ASEAN+3、ARF、EAS、ASEAN拡大防衛相会合等、日本のASEANの枠組みへの積極的な貢献を評価。日ASEAN防衛大臣ラウンドテーブルの開催を歓迎。
- 日本の「積極的平和主義」を歓迎。安倍総理の「海における法の支配の三原則」に留意。
- 国連海洋法条約を含む国際法の原則に基づいた紛争の平和的解決の重要性を再確認。南シナ海の紛争は、武力の行使に訴えることなく、自制及び一方的行為を含む状況を複雑化させる行為の回避により、平和的に対処されるべきとの認識を共有。南シナ海に関する行動宣言（DOC）の完全かつ効果的な履行を強調し、南シナ海における行動規範（COC）の早期妥結のための実質的協議の継続を要請。
- 「テロ及び国境を越える犯罪対策共同宣言」の採択を歓迎。
- 官民の対話、中小企業協力等経済面での協力を歓迎。AJCEP投資・サービス章妥結に向けた前進を歓迎。RCEP交渉の妥結を期待。
- 日メコン協力等、域内格差是正に対する協力の継続を期待。
- 日ASEAN航空協定等、交通分野での協力の進展、日本による連結性支援、官民連携（PPP）の促進を評価。
- 防災面で更なる協力を要請。
- 青少年交流、文化交流を重視し、日本の貢献を評価。
- 「日ASEAN健康イニシアティブ」を評価。
- 低炭素成長、エネルギー安全保障のための技術の共有を期待。高効率石炭火力発電を重視。
- 朝鮮半島の平和、安全、安定の維持の重要性を認識し、六者会合の早期再開を含む平和的な対話を通じた非核化を要請。北朝鮮による弾道ミサイル発射を懸念。安保理決議や六者会合共同声明の完全な履行を支持。拉致問題を含む人道上の懸念を強調。



[本文へ](#) [English](#) [Other Languages](#) [リンクページ](#) [よくある質問集](#) [サイトマップ](#)

文字サイズを変更 [あ](#) [あ](#) [あ](#)

フリーワード検索

検索

[詳細検索](#) [検索方法](#)

[外務省案内](#) | [渡航関連情報](#) | [各国・地域情勢](#) | [外交政策](#) | [ODA\(政府開発援助\)](#) | [会談・訪問](#) | [報道・広報](#) | [キッズ外務省](#) | [史料・公開情報](#) | [各種手続き・御意見](#)

[トップページ](#) > [各国・地域情勢](#) > [アジア](#) > [ASEAN\(東南アジア諸国連合\)](#) > 第17回ASEAN+3(日中韓)首脳会議

ASEAN(東南アジア諸国連合)

第17回ASEAN+3(日中韓)首脳会議

平成26年11月13日



(写真提供:内閣広報室)

ツイート 18

メール



(写真提供:内閣広報室)



(写真提供:内閣広報室)

11月13日(木曜日)午後5時5分から午後6時30分まで、ミャンマー・ネーピードーにおいてASEAN+3首脳会議が開催され、我が国から安倍総理が出席したところ、概要次のとおり(議長:テイン・セイン・ミャンマー大統領)。

1 ASEAN+3協力のレビューと将来の方向性

(1)金融協力

安倍総理から、本年10月にASEAN+3マクロ経済調査事務局設立協定が署名されたことを歓迎し、協定の早期発効を期待する旨述べたほか、本年7月に「チェンマイ・イニシアティブ」の機能が強化され、地域の金融セーフティー・ネットの強化につながったことを評価する旨表明した。各国首脳からも、金融協力についての評価が述べられた。

(2)食料安全保障

安倍総理から、ASEAN+3緊急米備蓄(APTERR)制度の重要性、同分野の更なる発展への期待を表明し、複数の首脳から同様の発言があった。また、安倍総理から、ラオスやフィリピンに対する米支援、「フード・バリュー・チェーン構築」のための官民連携協力の強化に言及するとともに、日本産品に対する輸入規制の緩和・撤廃につき要請した。

(3)「人と人との連結性」(教育、観光など)

安倍総理から、学生交流の促進、科学技術人材育成のための青少年の日本への招へい、シンクタンク連携強化などの取組を説明した。

(4)貿易

安倍総理から、包括的な、かつ、高いレベルの協定を目指し、RCEP(アールセップ)の2015年末までの交渉完了につき、緊密に協力していきたい旨表明した。多くの首脳からRCEPをはじめ地域の経済統合の重要性について言及があった。

(5)石炭火力

安倍総理から、石炭火力の高効率化が実効的かつ不可欠な気候変動対策であり、この認識を共有したい旨発言した。

(6)今後の協力の分野・方向性(東アジア・ビジョン・グループII)

各国首脳から、民間有識者の提言を取りまとめた「東アジア・ビジョン・グループII」との関連で、今後の協力の分野・方向性について発言があった。安倍総理からは、学生交流の促進といった高等教育分野での協力や公衆衛生サービスの改善等を中心に貢献していく旨発言した。

2 国際情勢・地域情勢

(1)積極的平和主義

安倍総理から、日本は、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、地域及び国際社会の平和と安定及び繁栄の確保にこれまで以上に積極的に寄与していく、日本の平和国家としての根幹は不変である旨説明した。

(2)北朝鮮

安倍総理から、北朝鮮の核関連活動やミサイル開発の継続は、国際社会にとり重大な脅威である旨強調し、また、拉致問題について、北朝鮮による前向きな対応を促すべく、各国の理解と協力を改めて求めたい旨要請した。

(3)日中韓協力

ア 安倍総理から、本年8月、日中韓物流大臣会合を横浜で開催したほか、11月中に日中韓文化大臣会合を開催予定である旨述べた。

イ また、安倍総理から、日中韓では実務レベルの協力が継続してい

るが、外相会議を早期に開催し、首脳会議の開催につなげていきたい旨述べた。

[安倍総理大臣のAPEC首脳会議、ASEAN関連首脳会議及びG20首脳会合出席\(平成26年11月9日～17日\)](#)
[ASEAN+3\(日中韓\)協力](#)

[このページのトップへ戻る](#)

[ASEAN\(東南アジア諸国連合\)へ戻る](#)

[法的事項](#) | [アクセシビリティについて](#) | [プライバシーポリシー](#)

Copyright© 2014 Ministry of Foreign Affairs of Japan